

実は、  
風邪や  
インフルエンザも  
得意分野!

# 呼吸器内科を活用しよう

## 呼吸器内科とは

のど・気管・気管支・肺など、呼吸に関する臓器の病気を専門的に扱う内科です。「呼吸器内科は喘息や肺がんを診るところ」と思われる方も多いのですが、風邪やインフルエンザなどよくある気道感染症なども得意分野ですので、「咳がとまらない」、「痰がからむ」などの症状や「胸が苦しい」、「息切れがする」などの症状がありましたら、呼吸器内科へご相談下さい。



## 呼吸器内科の病気

【感染症】風邪、新型コロナやインフルエンザなど

【急性疾患】扁桃炎・咽頭炎・気管支炎・肺炎・マイコプラズマ感染症など

【慢性疾患】気管支喘息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)・気管支拡張症・肺非結核性抗酸菌症など

【進行性の病気】肺がんや間質性肺炎などの進行性の病気など

【その他】睡眠時無呼吸症候群の治療、禁煙の治療など

⚠️特にこのような症状がある場合はご相談下さい⚠️

### ①咳

- ・咳が長く続いている
- ・夜も眠れないほど激しい咳が出る
- ・特定の時間や季節になると咳が出る
- ・ホコリや煙を吸うと咳き込む
- ・ペットがそばにいと咳き込む

息も吸えないほど激しく咳き込む場合は、**喘息**や**アレルギー**などが原因の可能性もあります。



### ②痰

- ・2週間以上痰が続いている
- ・色のついた痰が出る
- ・痰の絡んだ咳が出る

特に喫煙の習慣がある人は、**肺がん**や**COPD**の症状として痰がしつこく出ることもあるので、早めの受診をおすすめします。



### ③息切れ・息苦しさ

- ・階段や坂道の上下りが苦しくて息が切れる
- ・動くとすぐにゼーゼー、ハーハーと息が切れる
- ・睡眠中に息苦しくて目が覚めることがある

息切れを安直に歳のせいにするのは危険です。同年代の人と一緒に歩いているときに、自分だけ息切れをしてしまうようなら、**呼吸器の病気**の可能性もあります。



人間が生きるためには酸素を身体に取り入れること、すなわち『呼吸』が必要不可欠です。そのため、**呼吸器の病気は発見が遅れることで命に関わることも多く**、呼吸器専門医による適切な診断や治療がとても重要です。

その一方で、咳や痰、発熱など、日常によくある症状が多いのも呼吸器の病気の特徴で、「このくらいなら大したことはないだろう」、「病院に行かなくても治るだろう」と自己判断で受診の足が遠のいてしまうという問題点もあります。

しかし、今回ご紹介したように**呼吸器の病気には命に関わる重大な病気が潜んでいることもあります**ので、咳や痰、息切れなどが続く場合には自分で判断をせず、一度ご相談下さい。

## ★★新型コロナウイルス感染症の後遺症でみられる咳★★

症状の程度にもよりますが、咳が2～3週間続く人もいれば3ヶ月程続く人もいます。

さらにオミクロン株に感染した人は、デルタ株に感染した人より**咳の後遺症に悩む人が多い**ことが分かっています。

通常は自然治癒することが一般的ですが、2週間ほど咳が続く場合や日常生活に支障が出るほど咳が強い場合には一度ご相談下さい。

